



あけましておめでとうございます

やや落ち着きつつあるとはいえ一進一退のコロナ禍の中、皆様いかがお過ごしでしょうか。

昨年春、これまでまったく思ってもみなかったことに東京学芸大学附属世田谷中学校の校長併任となり、未知の経験で改めて鍛えられる年となりました。学校経営には関心を持ってきましたし、ドイツの校長先生数十人にインタビューをして小文を書いたこともあれば某県で学校管理職の皆さん対象のマネジメント研修講師をしたことも一再ならずあります。とはいえそれなりの責任を担って学校に赴くとなると話は違います。本を読んでもニュースを見ても、以前とは感じ方が変わりました。自分が学校の「戦力」となっているかどうかは心許ないのですが、附属世田谷中学校の意欲のある教職員、想像していたよりは良い意味でワイルドな生徒たちにとって何か少しでも貢献することのできる校長になりたいと思っています。

自分の研究としては、ここ数年、仲間とともに継続してきた民間企業等勤務経験のある教員＝中途入職教員の研究には近々一応の区切りをつける予定です。ドイツ教育の研究は滞りがちですが12月に久しぶりに10日間ほど渡独調査に行くことができました。日本もドイツも共通に、教員の社会的地位を守り、できれば一層の向上を図るための教育行財政施策が必要だと切に感じます。

私事では長女のところに生まれた初孫が2歳半になり、長男30歳も伴侶を得ました。確実に世代の交代は進み、嬉しいことです。ベテラン世代としては体調に気を配りつつもうひと飛びしたいものです。本年もどうぞよろしく願いいたします。

184-8501 小金井市貫井北町 4-1-1 東京学芸大学 先端教育人材育成推進機構
前原健二 machara@u-gakugei.ac.jp



ドイツ・ザクセン州の
ワイン農場にて Dec.2022